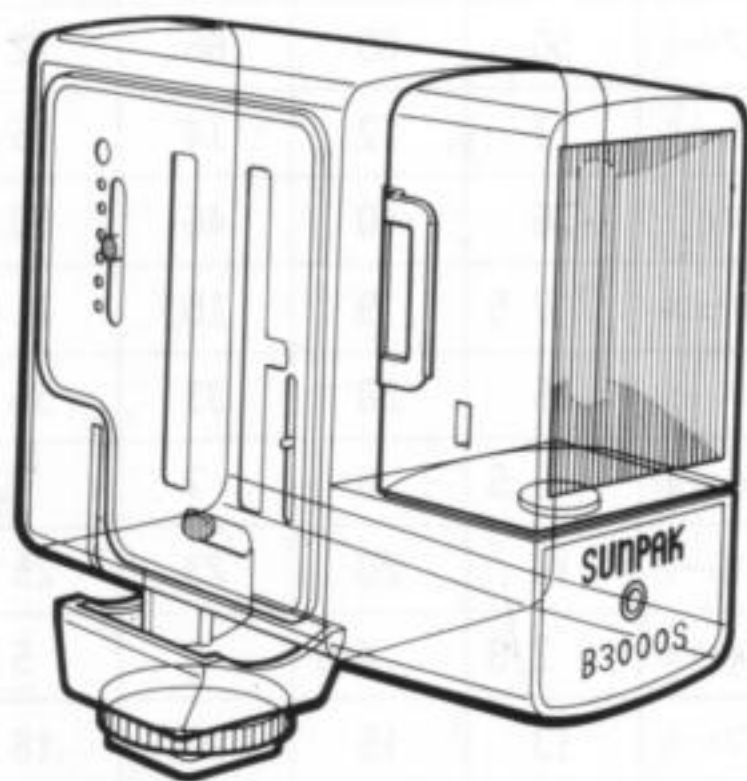


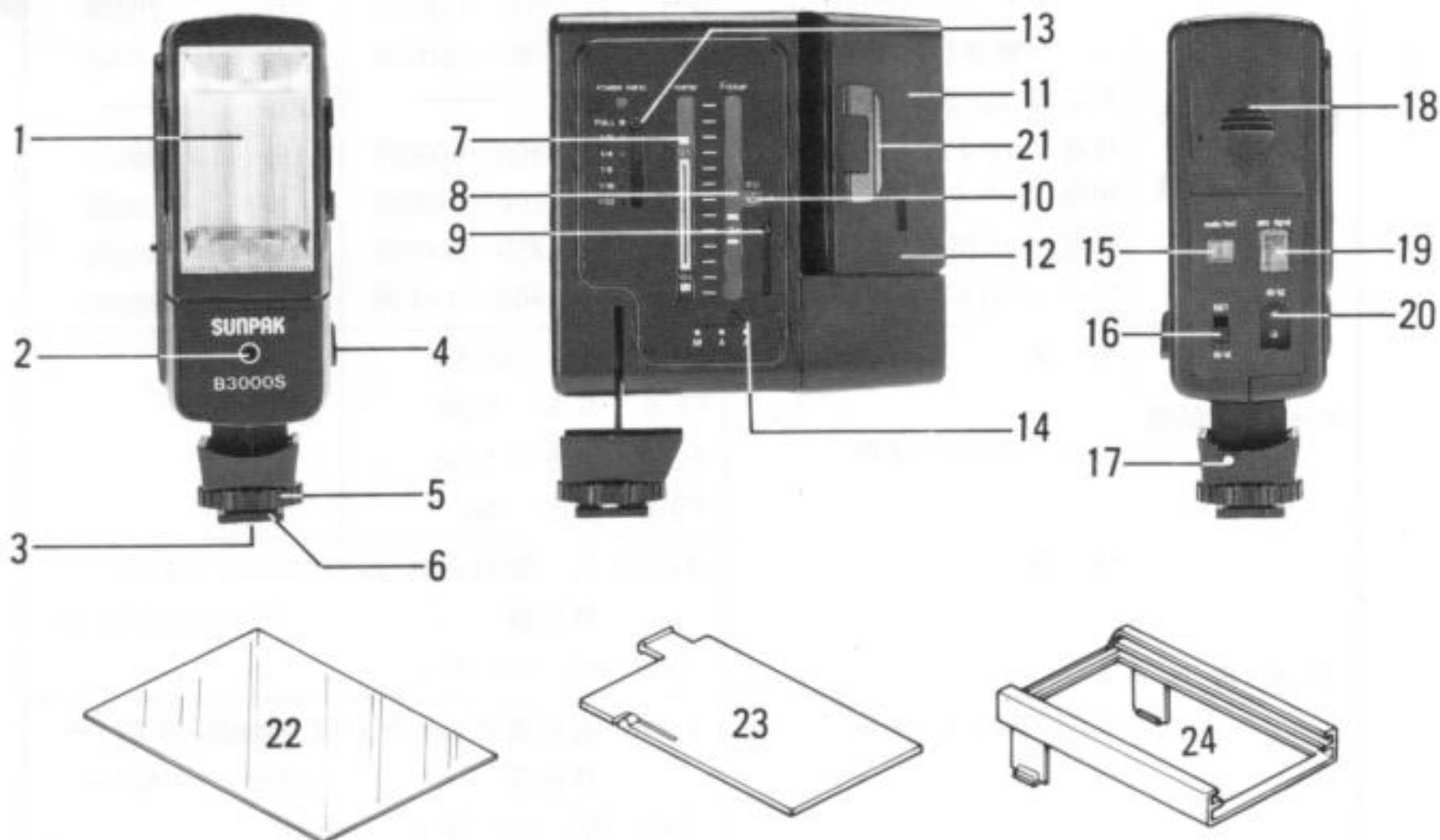
# B3000S

## 使用説明書



### セット内容

B3000S本体, ワイドアダプター(WK-11), フィルターホルダー(FH-01), バウンスレфлекター20, 使用説明書, 保証書及びご愛用者カード



### 各部の名称

- |              |                   |                   |
|--------------|-------------------|-------------------|
| 1. 発光部       | 9. フィルム感度合せつまみ    | 17. 発光テストピン       |
| 2. オート受光部    | 10. フィルム感度表示窓     | 18. 電池ボタン         |
| 3. ホットシュー接点  | 11. バウンスフラッシュヘッド  | 19. オート確認ランプ      |
| 4. シンクロコード   | 12. アクセサリーセット溝    | 20. 外部電源ソケット      |
| 5. ロックリング    | 13. パワーレシオスイッチ    | 21. 固定スプリング       |
| 6. 180°回転シュー | 14. モード切換スイッチ     | 22. バウンスレфлекター20 |
| 7. 距離表示窓     | 15. レディランプ/テストボタン | 23. ワイドアダプター      |
| 8. 絞り表示窓     | 16. 電源スイッチ        | 24. フィルターホルダー     |

## 撮影前の準備

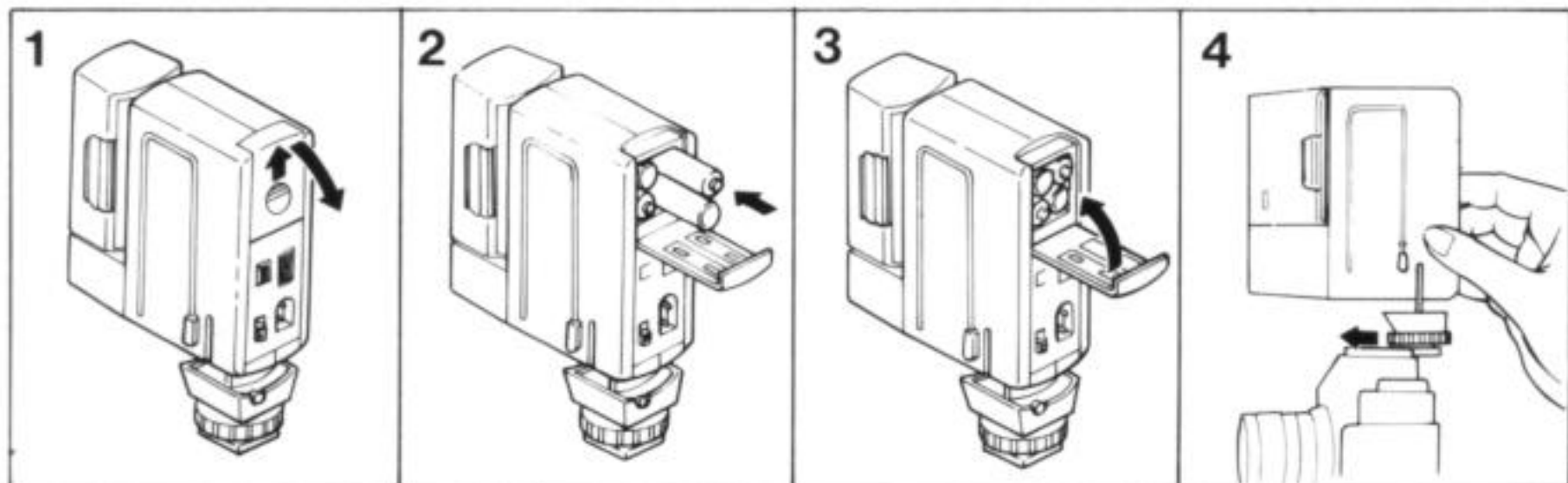
### 1. 電池の入れ方

- (1) 電池ふたを上にはずらし、開いてください。(図1)
  - (2) 電池4本を電池室の $\oplus$  $\ominus$ の図示に従って正しく入れてください。(図2)
- B3000Sに使用できる電池は単3型のアルカリマンガン電池(LR6)、ニッカド電池(KR-AA)のいずれかです。また外部電源としてACアダプター(AD-27)、積層パックI型(510V積層電池または

NC-510ニッカド電池)、積層パックIII型(240V×2または270V×2積層電池)、TRパックII型(いずれも別売)の使用が可能です。

- ニッカド電池はサンバック・フォトカド電池KR-AAと充電器のセットされたBC-2121をお求めください。

- (3) 電池ふたをもとに戻してください。(図3)
- ふたを下にはずらして確実に閉じてください。



### 2. カメラへの取り付け方

- (1) カメラのシューに差し込み、ロックリングをまわして固定してください。
    - a) ホットシューカメラのときはシンクロコードをストロボに差し込んだまま使用します。(図4)
    - b) シンクロコードを使うカメラのときはカメラのシンクロプラグターミナルにコードプラグを差し込んでください。(図5)
- シンクロプラグターミナルは“X”位置へ、また切換スイッチ付カメラのときは必ず“X”位置に切換てください。

※B3000Sはカメラのシンクロスイッチを守る低圧シンクロ回路を採用しています。

- (2) カメラのシャッタースピードをセットします。ストロボに同調するシャッタースピードは次のとおりです。

#### ①フォーカルプレーンシャッター

シャッターダイヤルをXマークまたはマークに合わせてください。

#### ②レンズシャッター

どのシャッタースピードにも同調します。

※詳しくはカメラの説明書に従ってください。カメラは一般にマニュアルモードでご使用ください。

- (3) 発光部の向きをセットします。

- ①発光部を希望の位置に向けます。(図6)(発光部の後部のインジケーターを参考にしてください。)

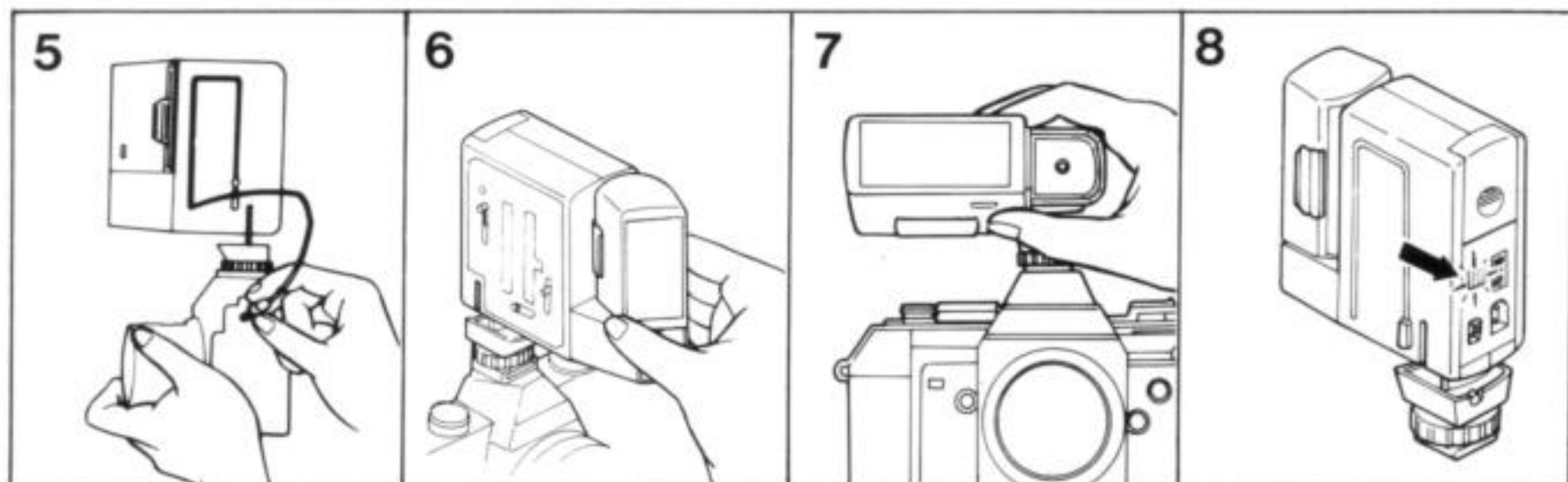
- ②ストロボを横位置にするときは、ストロボ本体に指をかけて静かにたおしてください。(図7)

- (4) 電源スイッチを入れます。

- ①電源スイッチを“BATT”側にします。ピーという発振音を共に充電が始まり、しばらくしてレディランプ(ready/test)が点灯し、発光準備完了の表示をします。(図8)

- ②電源を切るときは、電源スイッチを“HV/AC”側にもどしてください。

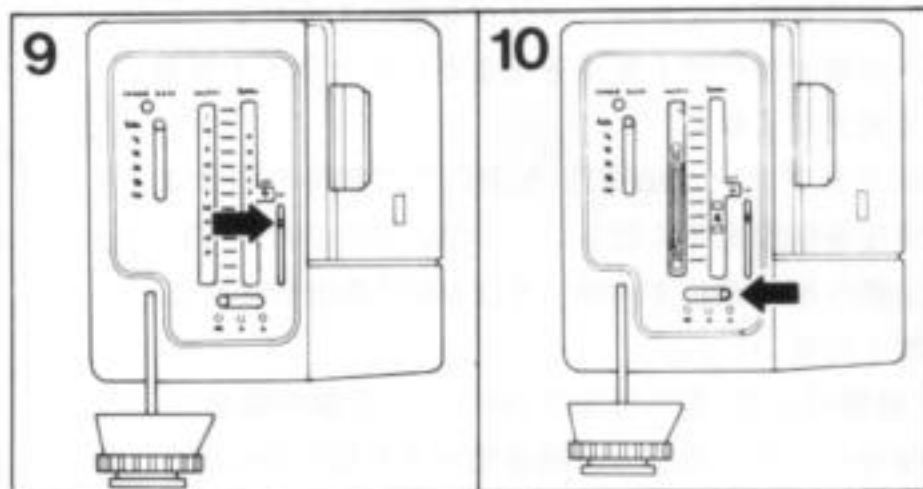
※電源を切るとレディランプは消え発光できません。



## オート撮影の仕方

- (1) ご使用フィルムのISO感度をフィルム感度つまみで赤線に合わせてください。(図9)  
(例えばISO 100)
- (2) オート・マニュアル切換スイッチを緑色Aまたは黄色Aに合わせてください。(図10)
  - ①緑色のA：F2.8(ISO 100) 0.5～10.5m  
オート有効距離を最大に使用します。
  - ②黄色のA：F5.6(ISO 100) 0.5～5.3m  
被写体の背景や前面もシャープにしたいときやF2.8の絞りが無いレンズを使用するとき使います。
- (3) カメラの絞りをF2.8(緑色のA)またはF5.6

(黄色のA)にセットしてください。あとはシャッターを押すだけで有効距離範囲内は適正露出で撮影できます。



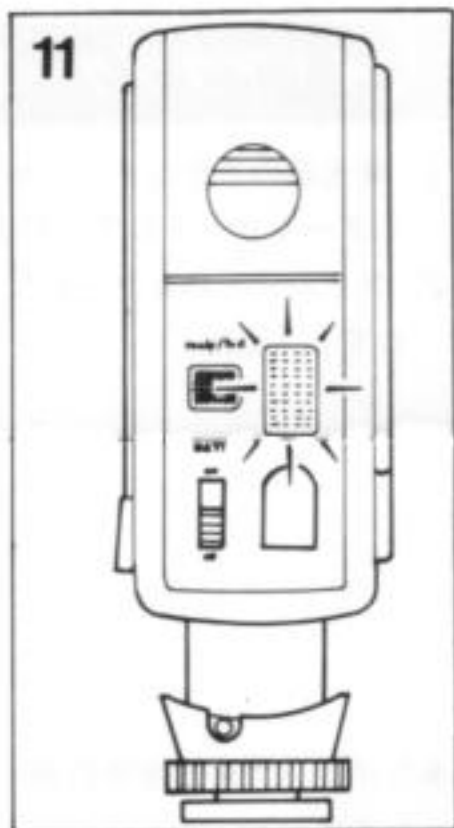
## テスト発光とオート確認ランプ

- (1) オート撮影のときオート受光部を被写体に向けてテストボタンを押してください。被写体がオート有効範囲内にあるときは発光後、オート確認ランプが約1秒間緑色に点灯します。(図11)

オート確認ランプが点灯しないときは、被写体にもっと近づくか、オート有効距離の長いモードにかえてください。

### ※オート撮影中の注意

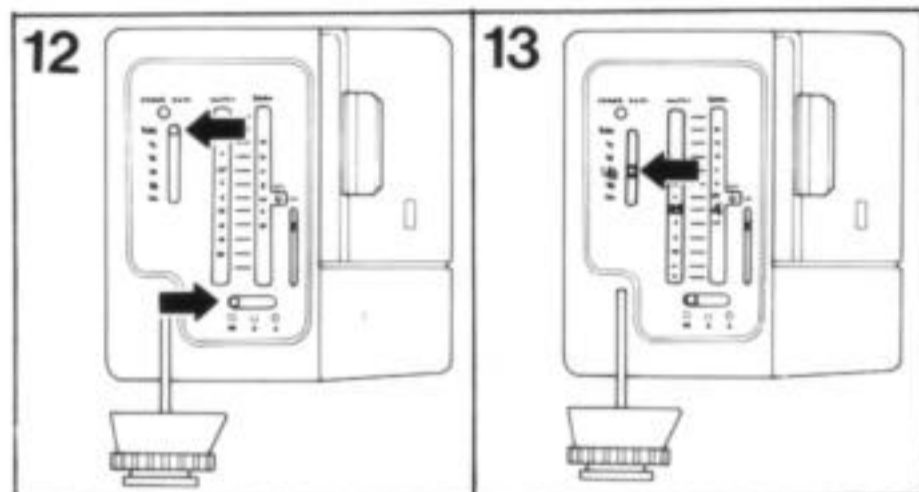
- ①オート受光部は適正露出を得るための大切な部分です。ゴミやホコリで汚れないようにしてください。
- ②被写体の手前に反射率の高いもの(例えば、白いテーブルクロス、鏡、ガラス等)があると露出不足になることがあります。
- ③デライトシンクロや逆光撮影、または増灯撮影をするときは、マニュアル撮影にしてください。



## マニュアル撮影の仕方

### 1. Full光量の場合

- (1) ご使用フィルムのISO感度をフィルム感度つまみで赤線に合わせてください。  
(例えばISO 100)
- (2) オート・マニュアル切換スイッチを白色“M”に合わせてください。(POWER RATIOスイッチの表示も白色に表示されます。)(図12)
- (3) パワーレシオスイッチを、Fullに合わせてください。(図12)
- (4) 絞りと距離の表示窓にはFull光量のときの数値が表示されます。例えばISO 100のとき被写体までの距離が4mならレンズの絞りはF 8となります。カメラの絞りをF8にセットしてください。



### 2. パワーレシオの使い方

- (1) パワーレシオはマニュアル操作で光量を可変できます。例えばISO 100のフィルムを使用してストロボと被写体までの距離が2.5m、カメラの絞りをF4で撮影したいときはパワーレシオスイッチを動かして2.5mがF4に合うようにします。これで光量が1/8に切り替わります。(図13)

このようにストロボと被写体までの距離によって好みの絞りが得られます。

※パワーレシオスイッチは、クリックに従って正しく目盛に合わせてください。クリックからはずれ

ていると正しい光量は得られません。

- (2) モータードライブカメラを使うときには、電源は積層バックまたはTRバックをご使用ください。  
(使用法は「外部電源の使い方」を参照ください)  
1/16, 1/32光量にセットしたときは、毎秒3コマまで同調します。連続発光は最大40コマで止め、10分以上休止してください。
- (3) Full光量の連続発光は最大10コマで止め、10分以上休止してください。

## バウンス撮影の仕方

### 1. オートによるバウンス撮影

B3000Sは、オートのままで多方向にバウンスをすることができます。発光部の傾きや、距離が簡単に調節できるうえ、オートのテスト発光で、ご使用になるバウンスの角度表示を記録しておきますと、何度でも同じ条件で撮影を行うことができます。

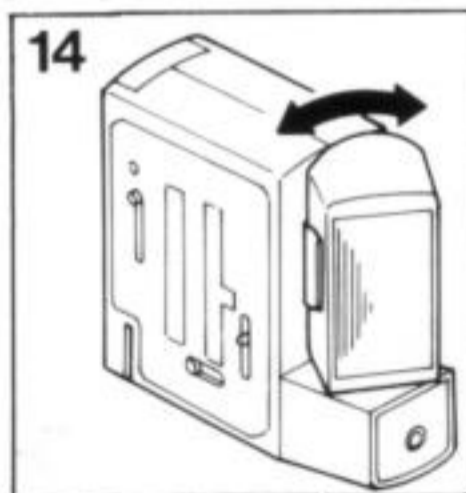
- (1) バウンスヘッドをお望みの方向に向け、角度表示をバウンス角度合わせ目盛に合わせてください。フラッシュヘッドは次のように回転しますがクリック位置以外でも使用できます。(図14)

横方向 0°, ±30°, ±45°, ±60°, ±90°

縦方向 0°, ±90°

※無理にねじ曲げたり、角度表示以上の傾きにしようとするとうと故障の原因になります。

- (2) 撮影をする前にテスト発光をして、オートシグ



ナルの点灯を確認してください。点灯しない場合は有効範囲の長い絞り値に変えるか、被写体までの距離をつめてください。

※被写体までの距離が近くても反射面（壁、天井）までの距離が遠かったり、反射率が悪いとオートが働かない場合があります。

※バウンスさせる反射面はなるべく白に近い反射率の高い面を選んでください。

カラー撮影の場合、反射面に色彩があると色反射に変わり、被写体の色が変わりますからご注意ください。

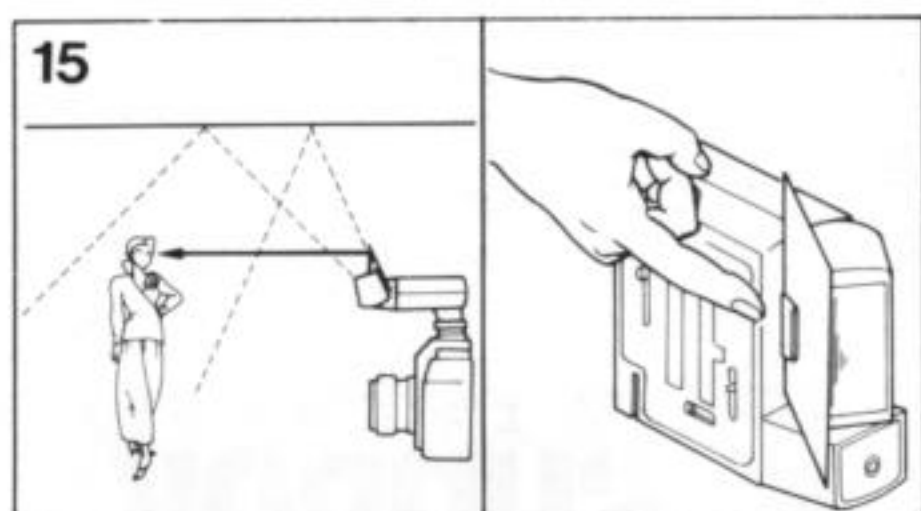
※反射面は条件にもよりますが白壁等でも通常2-3絞り相当の光量が低下します。ことため絞りは緑色Aの使用をおすすめします。

## 2. バウンスリフレクター20によるバウンス撮影

●バウンスリフレクター20は、天井等を利用してバウンス撮影をする際に光の一部を正面光に変える役目をします。これにより人物や動物の撮影では瞳にキャッチライト（瞳の輝き）が入り、表情が

生き生きとして画面が引き締まります。（図15）

- (1) バウンスリフレクター20を発光部の固定スプリングに差し込みます。（図16）
- (2) 発光部は60°と90°の間にしてください。バウンスリフレクター20は銀、白いずれの面でも使用できます。
- (3) 撮影はオートでご使用ください。マニュアルでもご使用できますが露出決定が難しくなります。



## 外部電源を使う時

### 1. 電灯線の場合

(1) ストロボの電源スイッチを“HV/AC”側に下げACアダプターAD-27のプラグを外部電源ソケットに差し込んでください。（図17）

※ストロボの外部電源ソケットは電源スイッチが“HV/AC”側に切替っていないと赤色のストッパーが出て外部電源プラグのソケットが入らない構造になっています。

(2) AD-27のACプラグを家庭用コンセントに差し込むと電源が入ります。

電源を切るときは、プラグを抜いてください。

※外部電源使用時も電源を切るとレディライトが消え発光しません。

※ACアダプター（AD-27）を海外でご使用の場合は電圧を切替えてください。120V、220V/240Vへの切替へが可能です。詳しくはAD-27の説明書をご覧ください。

### 2. 積層パックI型III型及びTRパックII型の場合

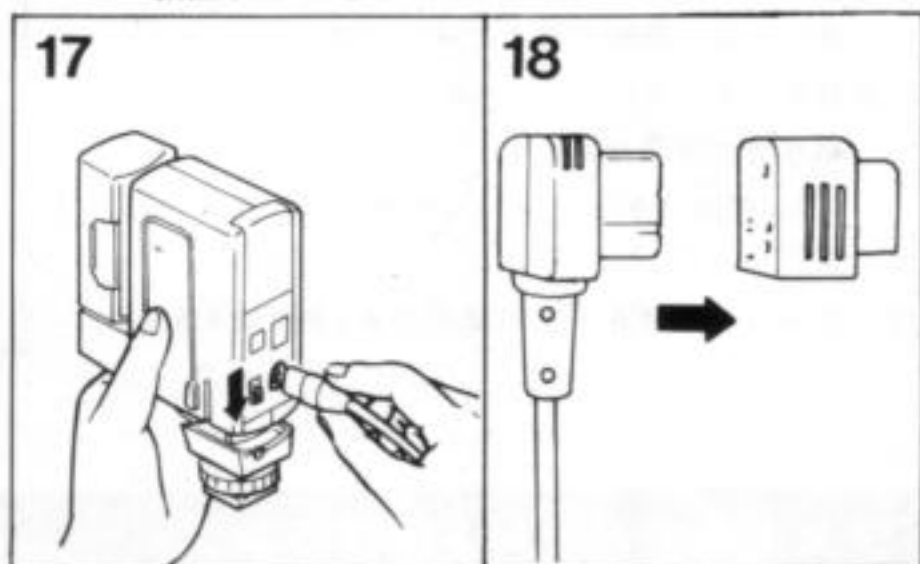
●積層パックI型は510V積層電池または510Vニッカド電源（NC510）を使用します。

●積層パックIII型は240Vまたは270V積層電池を各2本を使用します。

●TRパックII型は単2型ニッカド電池6本を使用し

ます。（単2型アルカリマンガン電池、マンガン電池も使用できます。）

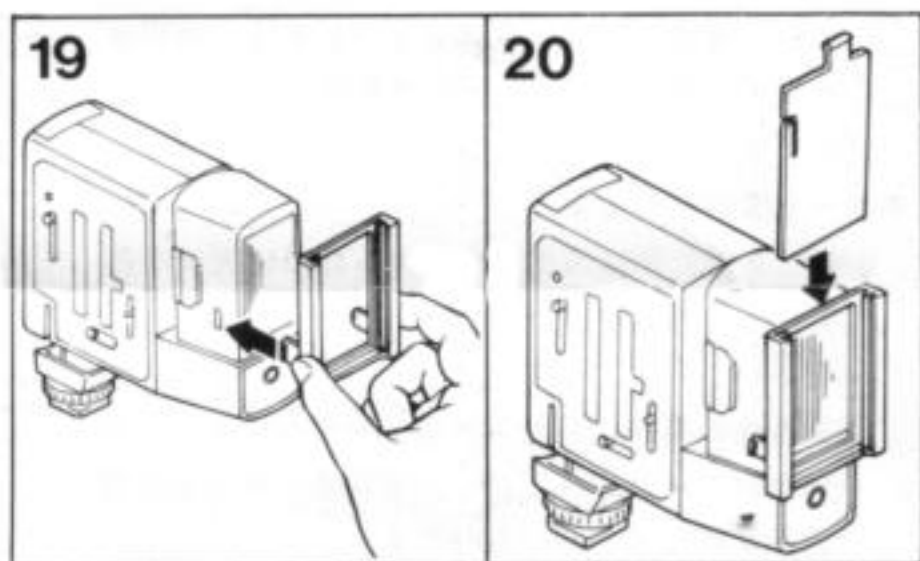
- (1) 積層パック、TRパックに付属しているコンバージョンプラグを電源プラグに装着してください。（図18）
- (2) コンバージョンプラグを装着した電源プラグをストロボの外部電源ソケットに差し込んでください。
- (3) 積層パック、TRパックのスイッチをONにすると電源が入ります。
- (4) 電源を切る時は、積層パックまたはTRパック側のスイッチを“OFF”にしてください。“ON”のまま放置すると電池が消耗してしまいます。



## ワイドアダプター28mmの使い方

1. 発光部のアクセサリセット溝にフィルターホルダーをセットしてください。（図19）

2. フィルターホルダーにワイドパネルを差し込みます。（図20）



●ワイドパネル使用時のガイドナンバーは次のとおりです。

	FULL	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32
ガイドナンバー (ISO 100・メートル)	22	15	11	7.5	5.5	3.8
ガイドナンバー (ISO 100・フィート)	72	50	36	25	18	13

## ガイドナンバー

フィルムスピード ISO		50	64	80	100	200	400	800	1600
FULL	メートル	22	24	28	30	44	60	88	120
	フィート	72	80	92	100	144	200	288	400
1/2	メートル	15	18	20	22	30	44	60	88
	フィート	50	60	66	72	100	144	200	288
1/4	メートル	11	12	14	15	22	30	44	60
	フィート	36	40	46	50	72	100	144	200
1/8	メートル	7.5	9	10	11	15	22	30	44
	フィート	25	30	33	36	50	72	100	144
1/16	メートル	5.5	6	7	7.5	11	15	22	30
	フィート	18	20	23	25	36	50	72	100
1/32	メートル	3.8	4.5	5	5.5	7.5	11	15	22
	フィート	13	15	16	18	25	36	50	72

性能及び仕様		オート撮影	マニュアル撮影
発光間隔及び 発光回数	アルカリマンガン電池(LR6)	0.5～7秒 200～1500回	7秒 200回
	ニッカド電池(KR-AA)	0.5～5秒 80～600回	5秒 80回
	電灯線(AD-27)	0.5～10秒 —	10秒 —
	積層パックI型(#0340)	0.3～1秒 800～6000回	1秒 800回
	積層パックI型(NC-510)	0.3～1.2秒 200～700回	1.2秒 200回
	積層パックIII型(#0160×2)	0.3～1秒 850～6000回	1秒 850回
	TRパックII(ニッカド使用)	0.3～1秒 400～1000回	1秒 400回
オート有効範囲	標準	F2.8 0.5～10.5m F5.6 0.5～5.3m	
	ワイドアダプター使用	F2.8 0.5～7.5m F5.6 0.5～4m	
	標準	ストロボ 縦位置 35mm判カメラで50mmレンズカバー 横位置 // 35mmレンズカバー (Ver 60°, Hor 46°)	
		ワイドアダプター使用	ストロボ 縦位置 35mm判カメラで40mmレンズカバー 横位置 // 28mmレンズカバー (Ver 70°, Hor 54°)
閃光時間	1/1,200～1/30,000秒	1/1,200秒	
光質	デイルイトカラーフィルムに最適		
寸法	巾41×高さ102×奥行103mm (シュー部分を除く)		
重量	305g (電池別)		

●発光回数とは：常温下で製造後3ヶ月以内の新しい電池を使用し、30秒間隔で連続発光させ、発光後レディランプが点灯するのに要する時間が30秒以内である状態までの回数。

●発光間隔とは：発光回数に示した条件下において、発光後、レディランプが点灯するまでの最短時間をいいます。

●性能表の発光間隔及び発光回数について、電池メーカーの違い、電池製造後の日数及び使用時の気温、状況により多少の差が生じることがあります。

●外観及び性能を断わりなく一部変更する場合があります。